

\*\*\*\*\*

# 長中魂



平成28年12月22日(木)

第28号

伊豆の国市立長岡中学校だより  
文責 守野 和弘

\*\*\*\*\*

## 実り多き2学期が終了しました。

8月26日よりスタートした2学期80日間が本日終了しました。終業式では各学年代表生徒が、「団結」、「充実」という2つのステージを通して得られたものについて振り返ったり、3学期には各学年とも次のステップへの準備が待ち構えているので、その抱負について語ったりしてくれました。

\*\*\*\*\*

### 3年生代表 大島 琴美さん

高校へ進学する人に、必ず待ち受けているもの。それは、入試だ。入試は、その高校へ入学するための学力を、受験者が持ち合わせているかどうかを試すものである。いわば入試とは、「高校から私たち受験者への挑戦状」のようなものだ、と私は思う。その「挑戦状」の合格の基準を満たすことで、私たちは初めてその高校への入学が認められる。もしも、「挑戦状」の合格の基準を満たすことができないなら、もちろんその高校への入学は認められない。それほど、入試とは厳しいものだと思う。だから、「継続は力なり」という言葉があるように、入試に備えて、毎日少しずつでもいいから、勉強していくことが大切だ。

私も、今年入試を受ける受験者の一人である。入試のために、毎日勉強に取り組んでいるが、「友達と遊びにいきたい」、「テレビを見ながら、ずっとだらだらしていたい」などという、周りに潜む誘惑に負けそうになるときがある。しかし、そんな私が誘惑に負けずに勉強を頑張れているのは、叶えたい夢があるからだ。

私の夢は、中学校の国語の教員になることだ。きっかけを作ってくれたのは、私たちに3年間国語を教えてください、学年主任の先生だ。以前、授業で学習していた物語文に、「壁にたたきつけられる」という表現が出てきた。その表現について、先生は実際に黒板をたたき、それがどれくらいの強さであるのかを教えてください。そして、その後、先生は黒板をたたき強さを変え、「壁にたたきつけられる」という表現だけではなく、同じ動作でも「当たる」や「触れる」といった、わずかな違いがあることを教えてください。私はこのとき、日本語という言語の繊細さや美しさを知ることができ、とても感動した。同時に、そのことを教えてください先生に、強い憧れを抱いた。そして、その「憧れ」が、今では私を支える夢となっている。

自分が負けそうなときに、支えてくれる何かがあるということは、私にとってはとても心強いことだ。「夢を叶えるために今、私は勉強しているのだ」と考えると、俄然やる気が出てくる。スマートフォンに手を伸ばしかけていた手が止まる。今では、「自由な時間」を「勉強するための時間」に使い、将来の夢へと突き進むために、「入試という壁」を乗り越えるというより、打ち砕く勢いで頑張っていきたいと思う。



\*\*\*\*\*

### 2年生代表 若田部 さん

僕の2学期はとても充実していました。かつらぎ祭や鎌倉学習、部活動、行事を通してとても成長できたと思います。その中でも特にかつらぎ祭体育の部と部活動はとても頑張りました。

かつらぎ祭は2度目でしたが、初めの頃は練習の時に、なかなか気持ちが入りませんでした。そんな気持ちを変えてくれたのは3年生でした。3年生は練習から手を抜かず本気でした。この姿勢を見て、僕は本番だけじゃダメなんだということに気づかされました。かつらぎ祭当日は、3年生の最後まで諦めない姿に心打たれました。総合は2位でしたが、よい思い出になりました。来年は僕たちも手本になれるようにしたいです。



部活動では、部長になりました。初めはなかなかうまくまとめることができなくて、途中で投げ出したくもなりました。そんな時、先輩の姿が思い浮かびました。自分の思い通りにいかなかったとしても、途中で投げ出さず、最後まで部長としてやりきった先輩の姿がとても誇らしく思いました。「俺も負けてられないな、絶対チームをまとめてやる。これは俺のチームだ!」そんな気持ちになりました。これから思い通りに行かないこともあるだろうけど、あせらず、一步一步、しっかりと部長としての役割を果たしていきたいです。

また、一人の選手としてもとてもいい経験をさせてもらいました。夏の中体連では優勝を狙っていましたがベスト8止まりになり、団体戦でもまったくいいところがありませんでした。そんな中、同級生が全国への切符をとっていきました。とても悔しかったです。小学生の時には味わったことのない悔しさでした。

そこから僕は大きな挫折感を味わい、誰とやっても勝てる気がしませんでした。完全に自分の柔道を見失いました。そんな時、顧問の山口先生にいろんな所に遠征に連れて行ってもらい、東海大会や全国大会を間近で見させてもらいました。自分の気持ちがへこたれていても背中を押してもらい、「来年は絶対優勝するぞ」と声をかけてくれました。また先輩からは「夢は絶対曲げちゃいけない。何があっても追いつける」という言葉ももらいました。そして「まだ諦めない、絶対日本一になってやる、どん底から這い上がってやる」、そんな気持ちになりました。そこからの練習は絶対妥協しませんでした。どんなに辛くても乗り越えてきました。日本一になるって決めたから、もう悔しい思いはしたくないから…。

「なにくそ根性が紙一重を制す」来年こそは笑って終わり、お世話になってきた方々に恩返しができるように頑張ります。

4月には3年生になります。しっかりと3年生になるという自覚を持ち、最上級生として下級生の手本となる行動をし、長中を引っ張っていけるようになりたいです。

\*\*\*\*\*  
**1年生代表 杉山 さん**

かつらぎ祭体育の部の学年種目「長縄跳び」では、本番で1位をとれたけど、練習ではうまくいっていませんでした。他のクラスがどんどん新記録を出すのに、僕のクラスはなかなかいい記録が伸びませんでした。何度も何度も練習しましたが、不安な気持ちで本番を迎えました。本番では、クラスみんなの気持ちがまとまり、新記録を出して優勝することができました。

文化の部では、賞をとることができなくて悔しかったです。合唱練習ではしっかりやっている人とやっていない人の差がものすごく分かりました。それでも、本番が近づくとその人たちもしっかりやってくれてよかったと思います。かつらぎ祭を通して、うれしいことや悔しいこと経験し、クラスの団結が深まったと思います。



後期は学年委員になりました。学年委員会では他の委員会とのコラボをしています。学習委員会とのコラボでは昼休みに学習をしたり、給食委員会とのコラボでは残食をゼロにすることを目標にして活動したりしています。

1年3組はとっても元気がよく、団結力があり、明るいクラスです。時々ふざけすぎて先生にしかられることもあります。このクラスでよかったと思います。

2学期が終わると、このクラスで生活できるのもあと三ヶ月です。僕は学年委員として3月にはみんなが1年3組で良かったと思えるようにしていきたいです。